

令和4年度 京都市立銅駄美術工芸高等学校 教員公募 募集要項

○教育理念

自由快活な校風のもとで 多様性を尊重し共に高め合い 美の精神をもって広く社会に貢献できる
高い理想をもった創造性豊かな自立した青年を育成する

○教育目標

多様なものごとに触れ 美しさや本質を見出す 「感じる心」を豊かにする
主体的に取り組み 広い視野で柔軟に深く思考できる 「考える力」を伸ばす
幅広い美術の知識や技能を学び 自分の思いや考えを形にする 「表現する力」を高める

○学校の概要

明治13年（1880年）に京都御苑内に「京都府画学校」として創立し、今年で創立141年目。昭和55年（1980年）に日吉ヶ丘高校美術コースから、現校地で単独開校した。これまで文化勲章受章者、文化功労者をはじめ、多数の美術工芸作家を輩出し、産業界、教育の現場でも卒業生が活躍している。平成16年（2004年）より8科を、1科8専攻（日本画・洋画・彫刻・漆芸・陶芸・染織・デザイン・ファッショナート）に改編した。学校は、京都の中心部、鴨川の河畔に位置し、自然豊かで静かな環境にある。進路は、ほとんどの生徒が美術系の国公立4年制大学、私立4年制大学、専門学校へ進学する。学校は、令和5年（2023年）には、京都駅東部崇仁地区に新築移転予定である。

○求める人材

本校は、美術専門高校としての特殊性を大切にしながら、多様で変化の激しい社会の中で、自らの力と個性で生き抜く普遍性のある力の育成を目指している。現在、生徒の進路実現のための確かな学力保障と、課題解決能力やコミュニケーション能力の伸長を実現するため、ICT機器、特にiPadを活用したアクティブラーニングを推進し、美術を通して社会とつながる学び、教科横断型の学びに取り組んでいる。本校の教育理念と教育目標を理解し、この新しい学びのスタイルに積極的に取り組むとともに、「信頼と共感」「対話と協働」の姿勢を大切にして教育にあたる人材、かつ、本校が令和5年（2023年）4月に京都駅東部に新築移転することに向けて、新しい学校のビジョンを共有し、ともに授業改革、学校改革に取り組んでいく人材を求める。

① 募集対象

・京都市立学校に勤務する教諭（ただし、主幹教諭、指導教諭及び養護教諭は含まない）のうち、令和3年度末において本市採用後6年以上、かつ2校以上での勤務経験を有し、現任校での勤務歴が3年以上になる者（休職・育児休業の期間は年数に含めない。）。加えて、本応募について現任校校長の理解を得ている者。※令和3年11月1日現在、長期にわたり休暇休務を取得している者（妊娠していることが判明した場合もこれに準ずる。），教員公募制度、希望転任制度により現任校に異動した者、異動を希望しない者を除く。

※他校種から応募を希望する者は、高等学校教員免許状を所有又は令和4年4月1日までに取得見込であること。また、現在の教科を変更することとなる応募は認められない。

② 募集人員 1名

③ 募集期間 令和3年11月12日（金）～令和3年11月22日（月）

④ 提出書類 志願書（様式1）及び自己アピール書（様式2）

⑤ 提出先 現任校校長

⑥ 選考 書類選考の後、個人面接を行う。

⑦ 結果通知 現任校校長を通じて、令和3年12月9日（木）までに通知する。 最終結果は、教育委員会から内示をもって通知する。